

第6期第4回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 平成30年12月10日（月） 午後1時～午後3時
場 所： 新潟市中地区公民館 会議室
出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会 大桃委員， 菫澤委員， 安原委員， 井上委員，
丸山委員， 高橋委員， 小浜委員， 石井委員， 津野委員
事務局： 中地区公民館長鷺尾， 石山地区公民館長伊藤， 中地区公民館田中， 石山地区公
民館保坂

1 開会

中地区公民館長あいさつ

中地区公民館運営審議会議長あいさつ

2 議事

(1) 平成29年度事業評価シートの委員意見について

- (事務局) 平成29年度事業評価シートに関する運営審議会委員意見の集約案を説明。
- (井上副議長) 東区プラザ等他施設でも子育て支援事業が実施されているので、木戸公民館の木戸っこくらは、地域の子育て支援が途絶えないよう留意しながら整理することも良いと思う。
石山地区公民館は講座が工夫されている。今後も工夫を推進して欲しい。中地区公民館の子どもの学習支援は地域の子どもを見守っているものであり、心強い。
- (高橋委員) 事業評価シートに関する運営審議会委員の意見は良くまとめた。井上副議長と同様の意見。
- (大桃議長) 木戸公民館の利用者は固定的か。
- (事務局) 概ね固定的だ。定期利用団体9団体と近隣自治会の利用である。
- (菫澤委員) 昨年度、木戸公民館で運営審議会を開催したが、同様に石山地区公民館での開催があれば事業の場をイメージしやすい。
- (大桃委員) 中地区公民館と石山地区公民館の利用者は、両方の利用をするというより、片方の利用が多いのか。
- (事務局) 移動手段がなければ地元の公民館を利用する傾向が強いだらう。
- (大桃議長) 運営審議会では3館の事業について意見交換するので、各館に一度は行く機会があると良い。
- (事務局) 来期はそのようにしたい。
- (高橋委員) 木戸公民館の駐車場は狭いが、現在の木戸の利用者が石山地区公民館を利用する可能性はあるのか。
- (事務局) 木戸公民館は徒歩で利用の方が大半なので、難しいと考える。
- (高橋委員) そうならば、木戸公民館の必要性を感じる。
- (大桃議長) 議題について案をもって集約した意見として了承してよろしいか。
- (委員) (了承)

(2) 平成30年度事業の中間報告について

- (事務局) 平成30年度事業実施状況(11月15日現在までの中間報告)を説明。
- (安原委員) 中地区公民館のユースセミナーちょっと豪華な木曜日の各回の参加者数を教えて欲しい。
- (事務局) 初回8人。2回目3回目の報告はまだであるが、3回目は定員に達していたようだ。
- (石井委員) 石山地区公民館のご近所だんご「成年後見制度って何？」など、意識啓発事業で、それが寄与したかを長いスパンで把握するような事業では、事業の効果をどのように測るのか。
- (事務局) 例えば「成年後見制度」でいえば、受講者が「困ったときの相談先を知る」ことも事業効果の一つだと考える。
- (石井委員) 高齢者や介護の問題など少し固い知識を付与する講座は、成果の測定も視野に入れ、繰り返し続けることで意識啓発ができると考える。
- (事務局) 現行のアンケートの中で、気づきがあった、学んだことを誰かに教えようと思ったという質問項目があり、把握に努めている。
- (津野委員) 中地区公民館のおはよう朝ごはんでパッククッキングをしたとのことだが、過去に下山地区で実施した際、調理器具が揃わず苦労したことがある。情報提供したい。
- (大桃議長) 中地区公民館の山登り入門は難易度が高い事業であった、キャンセルも多かったとのことだが。
- (事務局) 広報の遅れで集まりが悪かった。初回の座学もかなり欠席があった。登山の参加者は非常に楽しんでくださったようだが、参加者の経験度がまちまちであり、募集や実施の面で他の座学の講座より少し難しかった。
- (丸山委員) 山登り入門講座の座学はどのようなことを実施したのか。
- (事務局) 下見の際の現地写真や標高の高い山の写真を見せたり、靴の履き方や登り方のマナーなどの学習を実施した。
- (安原委員) 座学すら欠席が多かったのは何か問題があるのではないか。検証して欲しい。
- (高橋委員) 募集人数の最低数といった決まりはあるのか。
- (事務局) 決まりはない。会場の大きさ、設備の有無、講師の対応可能な人数等で定員を決めている。
- (大桃議長) 中地区公民館のユースセミナー「ちょっと豪華な木曜日」は命名が良い。
- (丸山委員) 中地区公民館では健康体操教室の終了後、自主グループ化したが、石山地区公民館ではどうだったか。
- (事務局) けん玉のグループができた。
- (丸山委員) 地域の方の交流を深める場として、事業終了後もグループ化に繋がると良い。
- (事務局) 参加者がグループ化を望む場合の支援を継続したい。

(3) 平成31年度予算の策定状況について

- (事務局) 平成31年度予算案について作業を開始した時期である旨を説明。
- (丸山委員) 施設使用料が減少傾向にある。どうしたら公民館利用が増えるのか検討してほしい。例えば冷暖房は各部屋で個別に操作できるようになると良いと思う。
- (事務局) 新潟市では冷暖房の設定温度の基準がある。調整は各部屋で可能。
- (丸山委員) 季節の変わり目は冷暖房が使える館と使えない館がある。もう少し利便性の向上を検討して欲しい。
- (小浜委員) 公民館の工事等をきっかけに他施設に移行した団体があるのではないか。また公民館利用団体の会員が高齢化しており、対応が迫られているのではないか。
- (事務局) 他の施設の方が距離的に便利な場合もある。施設面というより、公民館は事業を実施することで利用者の拡大を図っている。コミセンなど施設が増えている中、公民館では利用団体協議会と文化祭を開催したり、人のつながりを創っていくことで楽しみを広げたいと考えている。
- (丸山委員) 自主グループとなった後も、会員募集等に公民館の支援を希望する。
- (小浜委員) 年度途中での団体利用は可能か。団体登録など制度は熟知されているのか。空き室の有効利用のため、様々な団体の利用についてどう考えるか。
- (事務局) 不定期利用の団体登録作業が必要だが、年度途中での利用は可能。公民館利用には規則があるのでそれは遵守の上、できる範囲での対応となる。熟知されているかというのは分からない。
- (安原委員) 他の施設を利用している知人から、施設の利用だけでなく、利用団体の協議会を作りたいと相談を受けたことがある。公民館は利用の手続きが面倒と言われるが、安きに流れるのではなく、利用について筋を通すことも必要なのではないか。
- (小浜委員) 公民館を知ってもらう手段としてホームページの効果はどうか。
- (事務局) ホームページの閲覧数は毎年調査している。他にフェイスブックによる事業等の報告や告知も行っている。そのほか、地域内の施設や商店等へのチラシ設置に高い有効性を感じている。
- (安原委員) 団体の高齢化について、古い団体には新しい人は入りにくい側面もあるようで、新しいサークルができれば潜在的に参加したかった人が入る。だから、新しい芽を伸ばす一方、古い団体が無くなることは自然の原則だと思う。

(4) 平成31年度事業に関する委員提案について

- (事務局) 平成31年度事業に関する委員提案について公民館からのコメントも含めて説明。
- (安原委員) 健康づくりに関して、スポーツセンターでウォーキングをしている人の後ろ姿を見ていると、使う筋肉をもっと意識した方が良いと思うことがある。公民館できちんとしたウォーキング講座をやってもらうと良い。こういった情報を発信してもらいたい。
- (丸山委員) 旧分水町の公民館で自衛隊員を招いて防災講座を開催したらしい。自衛隊式の防災の本もよく売れているようなので、このような企画も良いと思う。

3 その他

- (事務局) (1) 運営審議会正副議長会議について
中央公民館に確認したところ、現時点で開催の予定はない。
- (2) 第7期運営審議会委員の選任について
年明けに公募を開始する。公募があった場合、選考作業に正副議長の協力を願う。また次期委員については別に依頼する。
- (安原委員) 正副議長会議が開催されないなら、各区の審議会を3回に戻してほしい。
- (事務局) 他区にも同様の意見があると聞いている。意見として中央公民館に伝える。

4 閉会

【配布資料】

- 第6期第4回中地区公民館運営審議会 会議次第 (事前配布)
- 平成29年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見 (資料1, 事前配布)
- 平成30年度事業実施状況 (中間報告11月15日現在) (資料2, 事前配布)
- 東区公民館平成31年度予算案概要 (資料3, 事前配布)
- 平成31年度事業に関する委員提案 (資料4, 事前配布)
- 事業チラシ (当日配布)